【支援業務系ASP・SaaS部門　総合グランプリ】
渡したファイルが”あとから”消せる、
世界ではじめてのIRM ”FinalCode”

デジタルアーツ株式会社
マーケティング部
『FinalCode』プロダクトマネージャー
保屋松 彩佳

会 社 概 要

社名	デジタルアーツ株式会社（英文名：Digital Arts Inc.）
設立	1995年6月21日
資本金	7億1,359万0,262円（2022年3月31日現在）
株式公開市場	東京証券取引所 プライム市場（証券コード：2326）
業務内容	インターネットセキュリティ関連ソフトウェアおよび アプライアンス製品の企画･開発･販売
本社所在地	東京都千代田区大手町1-5-1 大手町ファーストスクエア ウエストタワー14F
営業所	北海道営業所 / 東北営業所 / 中部営業所 関西営業所 / 中四国営業所 / 九州営業所

※ 2022年11月時点における「i-FILTER」Ver.10、「m-FILTER」Ver.5、「i-FILTER@Cloud」、「m-FILTER@Cloud」のユーザー数（自社調べ）

DigitalArts

より便利な、より快適な、より安全な
インターネットライフに貢献していく

国産

安心
安全

1,100万人
ご利用中※

Web・メール・ファイルを網羅した デジタルアーツのソリューション

DigitalArts@Cloud

Webセキュリティ

外部攻撃対策から
Webフィルタリングまで、
ひとつの製品で実現

i-FILTER

クラウド版　オンプレミス版

メールセキュリティ

標的型攻撃メールや
誤送信による情報漏洩を対策する
トータルメールセキュリティ

m-FILTER

クラウド版　オンプレミス版

ファイルセキュリティ

ファイルが作成された瞬間から
“自動で守り”、渡した後でも
“あとから消せる”

FINALCODE

クラウド版　オンプレミス版

その他

エンドポイント Webセキュリティ　i-FILTER ブラウザー & クラウド

セキュア・プロキシ アプライアンス　D-SPA

メール誤送信防止 ソリューション　m-FILTER MailAdviser

i-フィルター

アジェンダ

1. ファイルセキュリティの重要性
2. FinalCodeについてのご紹介
3. ご活用事例
4. まとめ

アジェンダ

1 ファイルセキュリティの重要性

2 FinalCodeについてのご紹介

3 ご活用事例

4 まとめ

情報セキュリティの脅威

順位 ※(　)内は前年順位	情報セキュリティ10大脅威2023（影響を受ける対象：組織）
1位（1位）	**ランサムウェアによる被害**
2位（3位）	標的型攻撃による機密情報の窃取
3位（2位）	**サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃**
4位（5位）	**内部不正による情報漏洩**
5位（4位）	テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃
6位（7位）	修正プログラムの公開前を狙う攻撃（ゼロデイ攻撃）
7位（8位）	ビジネスメール詐欺による金銭被害
8位（6位）	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加
9位（10位）	**不注意による情報漏洩等の被害**
10位（NEW）	犯罪のビジネス化（アンダーグラウンドサービス）

※出典：IPA「情報セキュリティ10大脅威2023」
https://www.ipa.go.jp/security/vuln/10threats2023.html

ランサムウェアの流行　二重脅迫型による情報漏洩も

端末やファイルを暗号化

二重脅迫

機密情報窃取

ロックを解除して
欲しいならお金を払え

外部に情報を公開されたく
なければお金を払え

ランサムウェアは今後も増加の傾向に

ランサムウェアは攻撃者にとって利益が大きく
組織的にビジネス化されてきている

組織化

集団によっては成果報酬モデルなどが構築され、まるで企業組織のように活動が広まっている

身代金請求

機密情報窃取と暗号化を行い二重脅迫により身代金を請求する

情報売買

攻撃者同士がシステムへ侵入するための窃取情報を売買

今後ますます増加の傾向！ランサムウェア対策が急務に！！

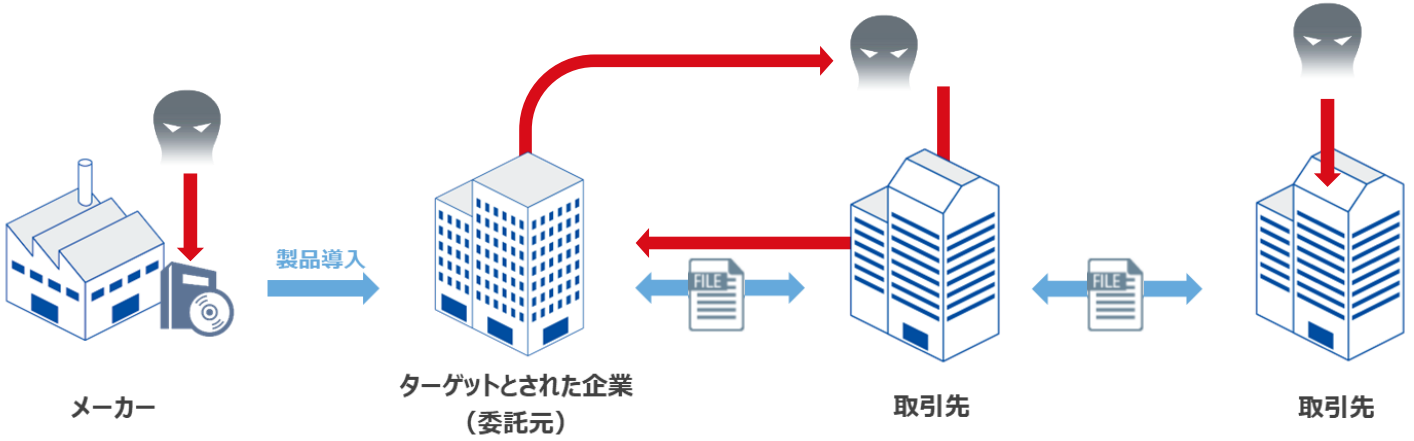
サプライチェーン攻撃とは

セキュリティ対策が脆弱なサプライチェーンの取引先企業（グループ企業、委託先企業など）を狙った攻撃

①IT機器やソフトウェアの製造過程で、製品や更新プログラムなどにマルウェアを仕込んで感染させる

②取引先を攻撃し、それを足がかりにターゲットとする企業に侵入する

③取引先からターゲットとする企業の情報を抜き取る



内部不正や人的ミスによる被害

内部不正

- ✓ 転職時などに企業の機密情報を不正に持ち出す

人的ミス

- ✓ メールの誤送信
- ✓ USB等の紛失

モラルや情報リテラシーだけでは防ぎきれない

対策をしていても、、

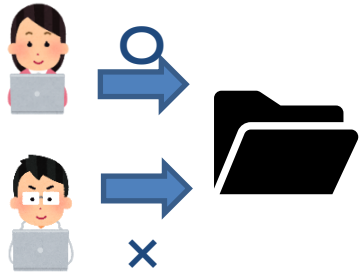
必ずパスワードを付けるようにしている

- パスワードごと誤送信してしまったら？
- ファイルの受信者がその後・・・

セキュリティ研修を行いルールを設ける

- 全員が厳密に守れていますか？
- 外部攻撃で意図せず漏洩してしまったら？

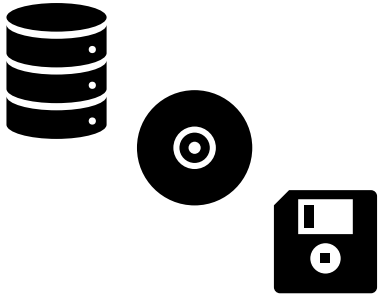
適切なアクセス権限管理をしている



- フォルダから外に持ち出された後は？
- アカウントが乗っ取られた場合は？

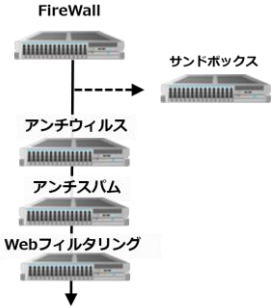
対策をしていても、、

データベース･HDDを暗号化している



- データベースから出力した後は･･･
- データ廃棄が不十分だった場合は･･･

多層防御を設けている



- 新種のウイルスが現れたら？
- 社外に渡した情報から漏洩してしまったら？

シンクライアントを導入している

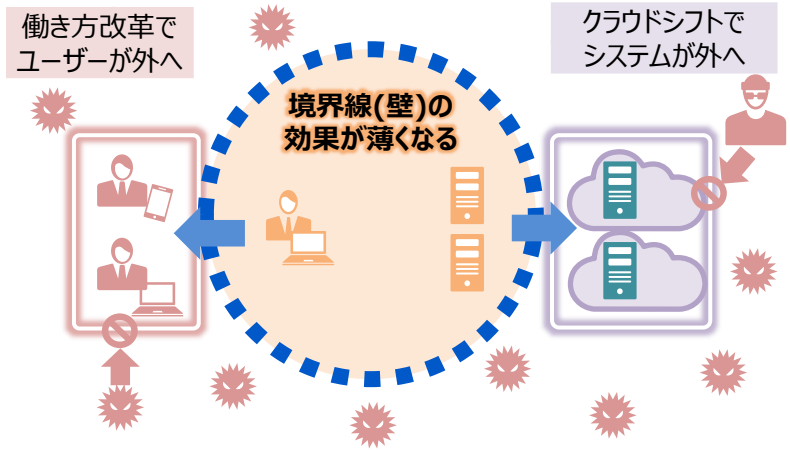
- メール誤送信してしまったら？
- 個人のメールやクラウドストレージに保存したら？

ゼロトラストセキュリティとは

信頼できないことを前提として、セキュリティ対策を講じていくセキュリティモデル

従来
情報資産・従業員は、境界線の中

クラウド時代
情報資産・従業員は、あらゆる場所



ファイル自体を守ることで、
あらゆるケースにおける情報漏洩を防止

アジェンダ

1 ファイルセキュリティの重要性

2 **FinalCodeについてのご紹介**

3 ご活用事例

4 まとめ

FinalCodeとは

ファイルが作成された瞬間から“自動で 守り”、
渡した後でも“あとから消せる”

サービス概要

FinalCode（ファイナルコード）とは、デジタルアーツが開発・提供する、
ファイル暗号化・追跡IRMソフトウェア

IRM… Information Rights Management.
文書ファイルを暗号化し、 閲覧や編集を制限したり、開封・操作履歴を取ることができるソフトウェア

サービス開始日

2012年７月１日
祝！10周年

サービス実績

規模や企業・文教公共問わずの実績。
ライセンス数：約12万ライセンス　※2022年3月末時点
毎月200万ファイルを新たに暗号化しています

ASPIC IoT・AI・クラウドアワード 2022

たいせつにします プライバシー 10822784(08)

SECURITY ACTION セキュリティ対策自己宣言 普及賛同団体

ASP SaaS 安全・信頼性情報開示認定

FinalCodeが提供する価値

社内ファイルはもちろん、従来では守ることができなかった社外に渡したファイルまで、守り、追跡し、万が一、情報漏洩が疑われる場合は、あとから消すことが可能

守る

指定した人以外は閲覧不可

いつでも意のままに権限変更が可能

追跡する

ファイルが手元を離れたあとでも、

アクセスログで追跡することが可能

あとから消せる

渡したファイルを

“あとから”削除することが可能

FinalCodeが提供する価値

守る

高度なIRMで指定した人・権限のみ操作可能。
作成された瞬間に守る運用も可能。

- パスワードレス
- 閲覧者指定
- 期間・回数指定
- 印刷・編集制御
- 不正時自動削除
- 印刷・画面透かし設定

FinalCodeが提供する価値

守る

閲覧者・閲覧期間の
指定あり

コピー＆ペースト
NG

上書き編集
OK

印刷
NG

※設定の一例です。
※ファイル操作権限は、渡した後でも変更可能です。権限変更後に、ファイルを再送する必要はありません。

ご活用シーン
・特定のお客様のみが閲覧できるようにし、万が一漏洩した場合に他の人は閲覧できないようにしたい。
・議事録の改ざん(上書き編集)を防ぎたい。

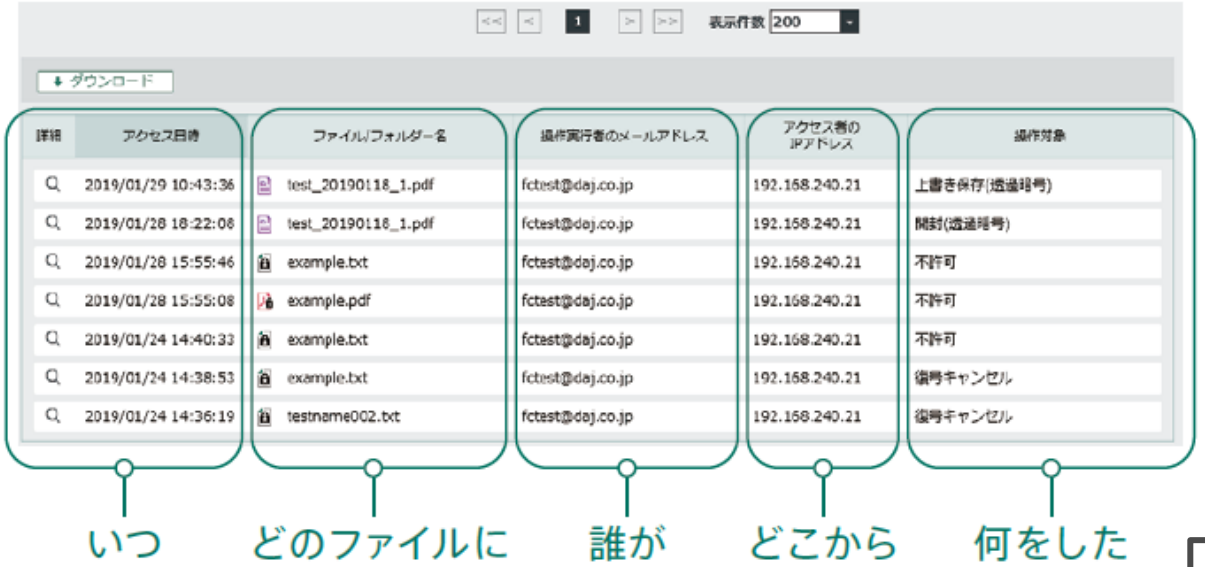
追跡する

ファイルを閲覧した人の確認可能。
不正なアクセスもすぐに検知。

- アクセスログ確認
- 不正閲覧検知
- 操作ログ確認

FinalCodeが提供する価値

追跡する



ご活用シーン

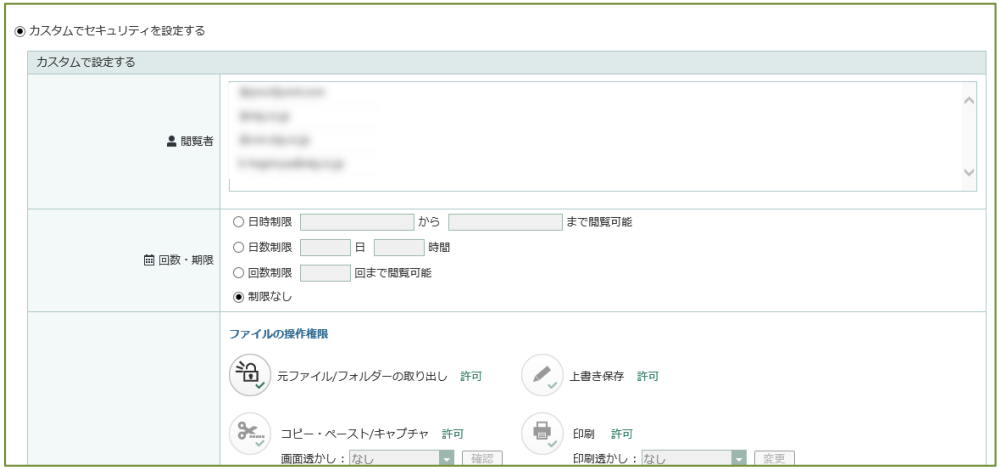
・提供したファイルがきちんと閲覧されたか、確認したい。

・適切に情報を取り扱った証跡として、レポート報告したい。

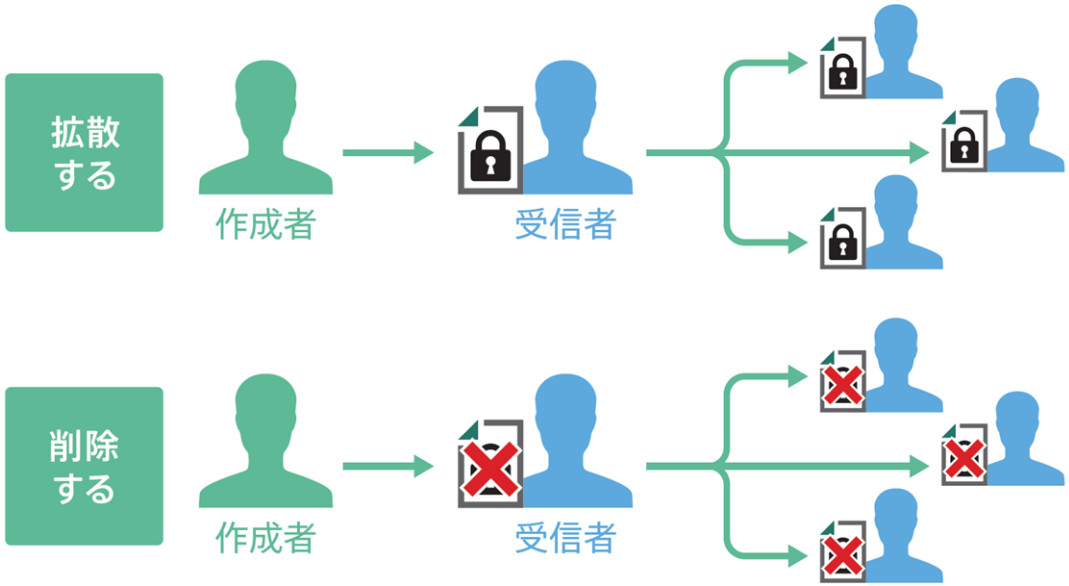
あとから消せる

ファイルを送った後にも権限変更や
ファイル自体の削除が可能。

- リモート権限変更
- リモートファイル削除



FinalCodeが提供する価値



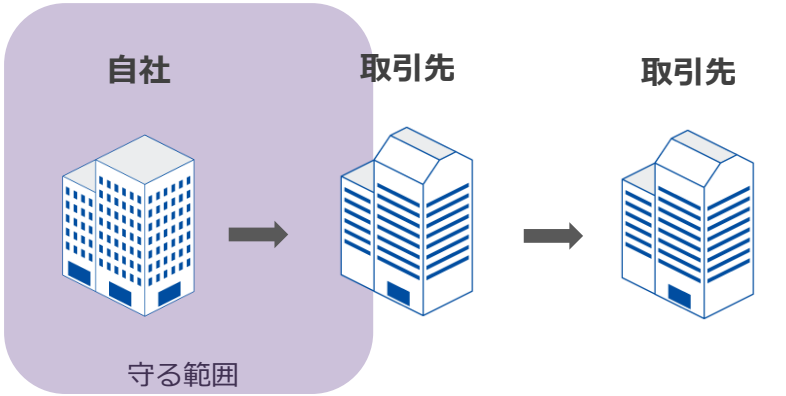
ご活用シーン

・手元を離れたデータファイルを、廃棄したい。

・プロジェクト終了後に、協力会社に提供したファイル削除を徹底したい。

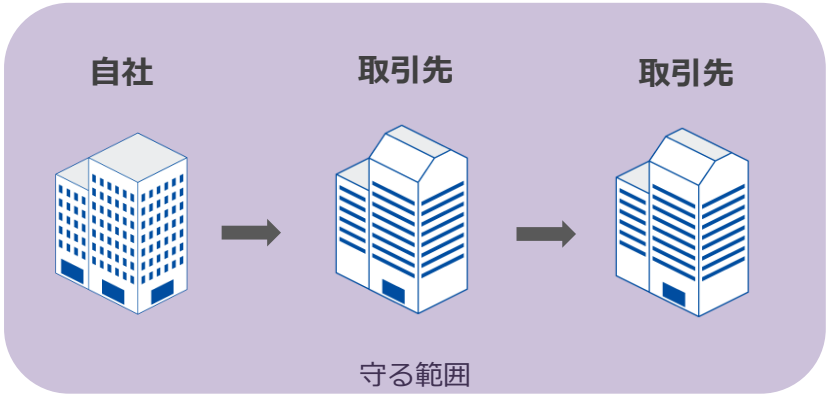
パスワード付ファイルや他製品との違い

パスワード付ファイルや一般的なファイル暗号化製品



社内や受け渡しだけ守り、
社外や受け渡し後は
コントロールできない

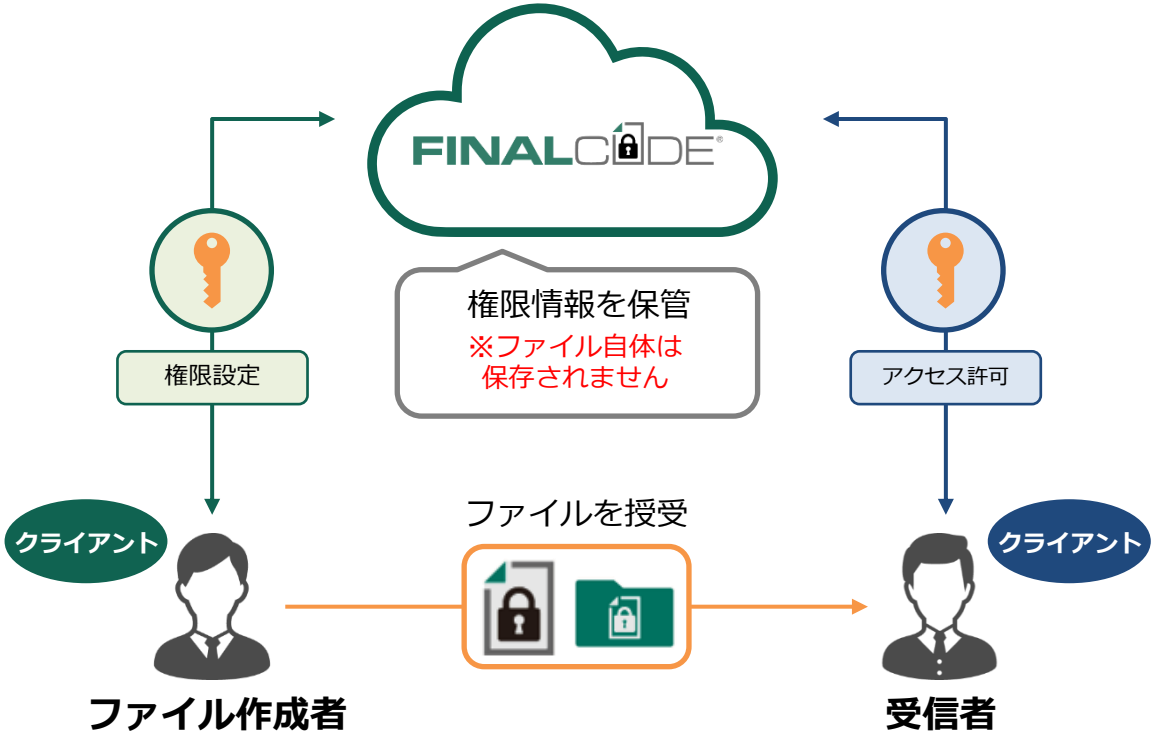
FINALCODE



どこまでも
コントロールし続ける

FinalCodeの仕組み

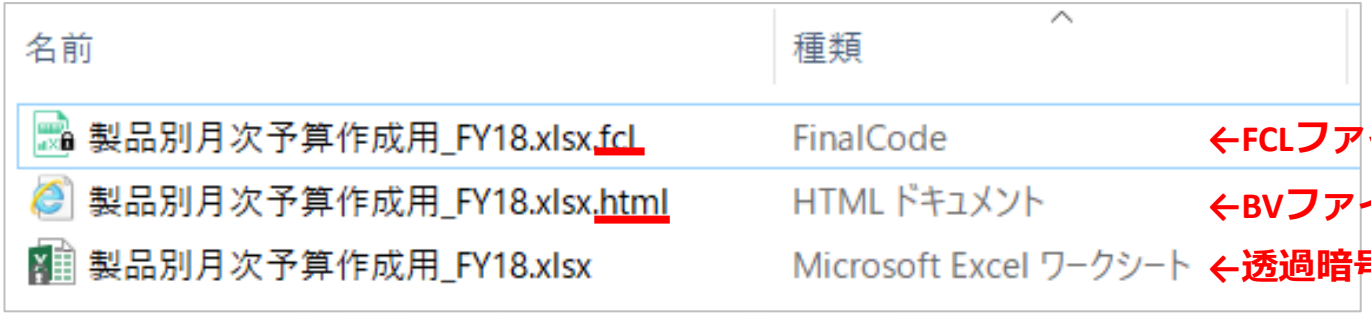
開封時に権限情報を確認するため、あとからの権限変更が可能！



1. ファイルの権限を設定
2. 受信者のメールアドレスと端末情報を登録
3. ファイルを渡す
4. サーバーに権限情報を確認
   ファイルを開封

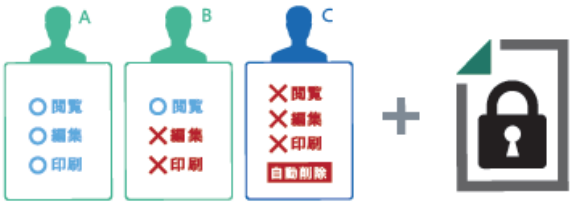
FinalCodeが作るファイルの種類

	FCLファイル	BVファイル (ブラウザービューファイル)	透過暗号ファイル
特徴	ファイル操作を完全に制御するIRM制御	クライアントがなくても安全に配布・閲覧できる	暗号化を意識しなくても、いつの間にか暗号化されている
閲覧可能ユーザー	社内・社外	社内・社外	社内のみ
デジタルアーツでの利用シーン	関係者内のみの情報を守る時 （ex.開発情報、人事考課、発表前IR情報）	社外へ送付する時 （ex.見積書、提案書、カタログ）	個人PC端末での業務時 （ex.データ分析、報告資料）



FinalCodeの活用シーン：より強固に

複数権限



画面透かし

共有フォルダ―自動暗号化

防ぐ情報漏洩リスク

- 内部からの漏洩（不正持ち出し、紛失、盗難、誤送信、改ざん）
- 外部による漏洩（標的型攻撃、ランサムウェア、ビジネスメール詐欺）
- 取引先からの漏洩（サプライチェーン攻撃、間接(二次)漏洩、オンラインストレージからダウンロード後の漏洩）

特許技術について

特許に関しては、10つ取得済み

① ファイルを暗号化するクライアント・サーバー間の処理、ユーザーを登録する処理に関する特許
② メール送信時にFinalCode化する特許
③ FinalCode化された文書を開くアプリケーションをホワイトリストで制限しつつ、情報を盗み取ろうとする外部アプリケーションをブラックリストで防御する方式に関する特許
④ オンラインストレージサービス「Box」との連携に関する特許
⑤ 管理サーバーと通信できない場合のファイル暗号化・復号に関する特許
⑥ クライアントアプリケーションに依存することなく暗号化ファイルを閲覧可能とする特許
⑦ フォルダ内のファイルの自動暗号化に関する特許
⑧ クライアントファイルの透過的な暗号・復号に関する特許
⑨ 不正アクセスを防止する特許
⑩ 不正な条件を設定しておき、条件に該当する場合に管理者へ通知する特許

ホワイトリスト・ブラックリストについて

特許技術
第5750497号

ファイルの開封までに二重のチェックをおこない、
開封後もファイルの安全を維持し続けます

01 同時起動アプリ制御
〈ブラックリスト方式〉

セキュリティホールになりうるアプリケーションの同時起動を制御

画面キャプチャ、クラウドストレージ、SNSへのアップロード・共有など、情報漏洩の抜け道になる機能を持ったアプリケーションをブロックします。また、ファイル開封後も該当アプリケーションの起動をブロックし続けます。

＊ 登録アプリケーション数：約3,600

- スクリーンキャプチャ
- ドライブシェア
- プロセスキラー
- アップロード
- コラボレーション
- レコーダー

02 開封アプリの限定制御
〈ホワイトリスト方式〉

ファイル閲覧は、安全に開くことができるアプリケーションに限定

暗号化設定が有効であることを検証したアプリケーションでのみファイルの開封を許可します。グローバルで標準的に使用されている主要なアプリケーションを継続的に動作検証済みアプリケーションリストに追加しています。

安全な環境でのみ開封許可

導入時には、お使いのアプリケーションが動作検証済ソフトウェア一覧（ホワイトリスト）に含まれていることを下記URLにてご確認ください。
https://www.finalcode.com/jp/product/spec/

第三者からの評価・受賞歴

総務省後援『ASPIC IoT・AI・クラウドアワード』において、
自社の重要な**情報財産を強固に守る**だけでなく、ファイル管理にかかっていた手間や時間からも解放されるため、
導入企業の**ビジネス加速に大きく貢献する革新的なソリューション**であるとの高い評価を得て、グランプリを受賞しました。

＜支援業務系ASP・SaaS部門＞

賞名	会社名	サービス名
総合グランプリ	デジタルアーツ株式会社	渡したファイルが"あとから"消せる、世界ではじめてのIRM『FinalCode』
準グランプリ	セイ・テクノロジーズ株式会社	サーバー設定仕様書自動生成サービス「SSD-assistance」
準グランプリ	株式会社メディア4u	メディアSMS
ベンチャーグランプ	DXYZ株式会社	顔認証プラットフォーム「FreeiD（フリード）」
審査委員会賞	NTTコム　オンライン・マーケティング・ソリューション株式会社	空電プッシュ
先進技術賞	株式会社JIRAN JAPAN	法人向けエンドポイントセキュリティ「EXOセキュリティ」

https://aspicjapan.org/event/award/16/index.html

その他受賞歴

NETWORKWORLD

CYBERSECURITY 500
WORLD'S HOTTEST SECURITY COMPANIES

アジェンダ

1 ファイルセキュリティの重要性

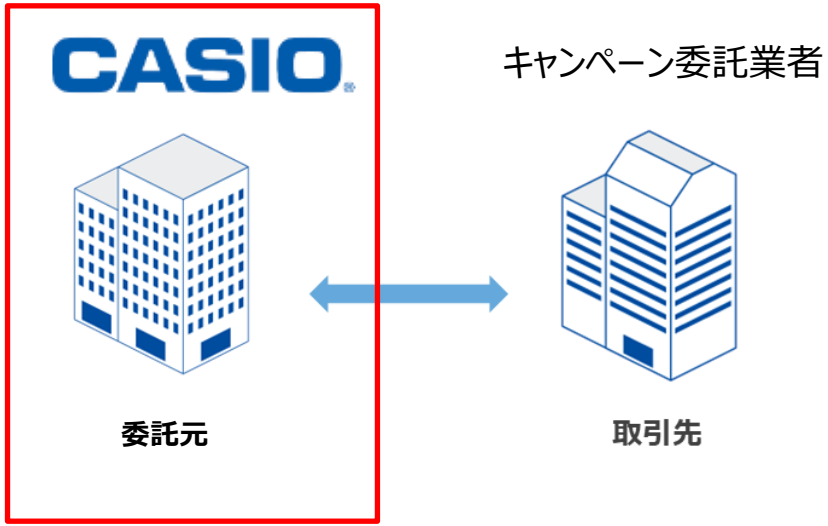
2 FinalCodeについてのご紹介

3 **ご活用事例**

4 まとめ

FinalCode事例①　カシオ計算機様：導入概要

利用者の課題	**CDと紙で取引先と個人情報をやり取り** 不正コピー、紛失、管理不明瞭など多数の課題
解決策	**FinalCode導入**
ベネフィット	**課題解決、業務効率化**



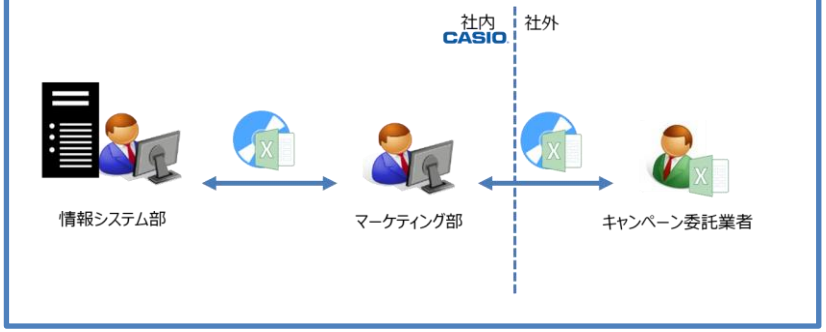
FinalCode事例①　カシオ計算機様：導入概要

担当者同士の手渡しのためにかかっていた労力や、
セキュリティリスクへの懸念がすべて不要になりました。

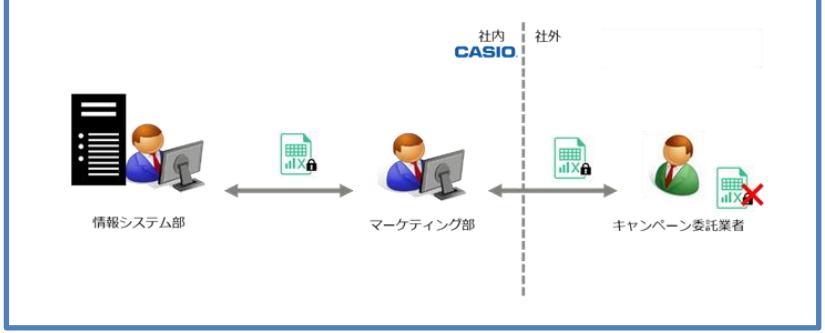
カシオ計算機ご担当者様

※出典：当社カシオ計算機様導入事例より抜粋

Before



After



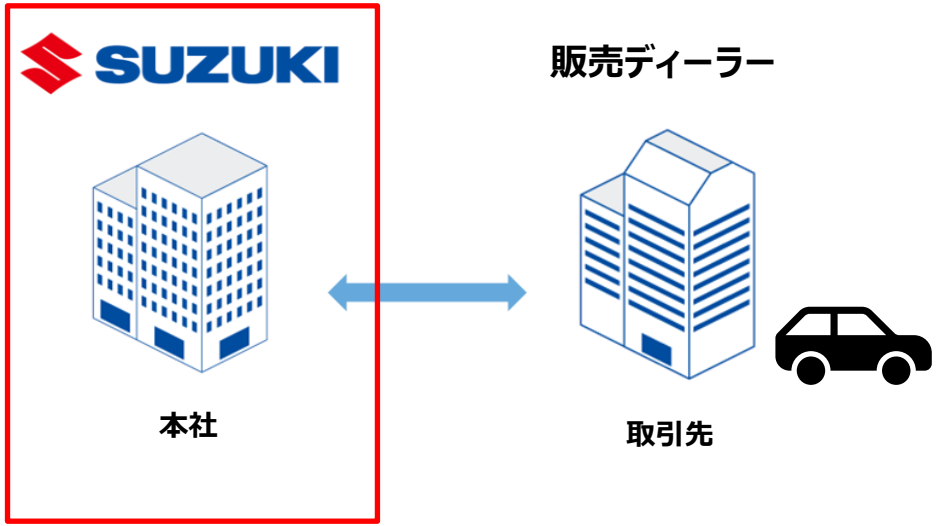
受渡し業務の
効率化

担当者のみ
編集・閲覧可能

業務終了後に
あとからリモート削除

FinalCode事例②　スズキ様：導入概要

利用者の課題	**パスワードと透かしで未発表情報をやり取り** 不正コピー、暗号化不徹底、管理不明瞭など多数の課題
解決策	**FinalCode導入**
ベネフィット	課題解決、作業工数削減、取引先での取り扱いも追跡・コントロール



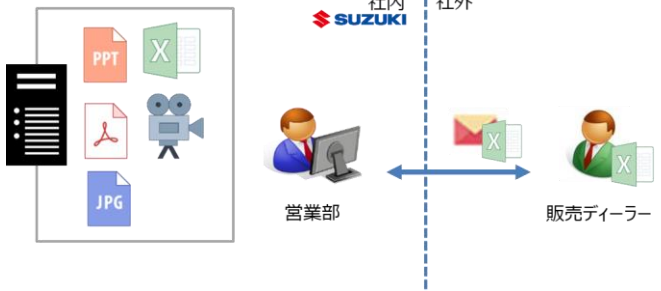
FinalCode事例②　スズキ様：導入概要

**暗号化と透かし挿入の処理が自動的に行われるようになり、
作業工数が大幅に減りました。**

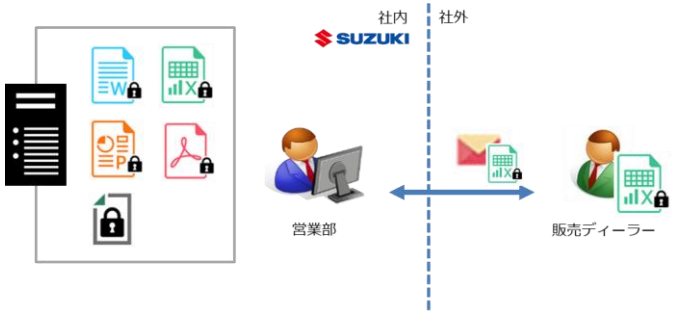
スズキご担当者様

※出典：当社スズキ様導入事例より抜粋

Before



After



**堅牢な保管と
不正持出しへのけん制**

作業工数削減

**取引先での取扱も
追跡・コントロール**

お客様の声・導入効果

作業工数の削減

パスワードを設定することなくファイルを暗号化して共有することができ、暗号化されたファイルはダブルクリックで簡単に閲覧できます。別のメールでパスワードを送るという従来の手間もなくなり、工数の削減に繋がっています。

YAZAKI

■矢崎総業株式会社

顧客満足度向上

「FinalCode」は、外部との間で安心して顧客データのやり取りが行えるだけでなく、顧客サービスの質向上にも一役買っており、自動暗号化することで数日かかっていたフローが即日でできるようになりました。

CASIO

■カシオ計算機株式会社

普段通りのファイル運用

エンドユーザーにとって、出力ファイルの使い勝手は「FinalCode」の導入後も一切変わらないため、ほとんどの職員は暗号化されていることに気づいていないと思います。不満も少なく、管理側も手がかからないのが魅力です。

豊見城市役所

■豊見城市役所

生産性向上

従来、販売店に提供するファイルひとつひとつにパスワードと透かしを入れる作業が手動だった事に対し、「FinalCode」導入後は暗号化フォルダーにファイルを置くだけで自動で暗号化と透かしが適用され、生産性が向上しました。

SUZUKI

■スズキ株式会社

国産ならではのサポート

「情報の開示範囲拡大」を実現しつつ「情報漏洩対策」も一緒に実現できるソリューションを探していたところ、「FinalCode」にたどり着きました。サポートのレスポンスも非常に早く、本当に感謝しています。

TOKAI RIKA

■株式会社東海理化

漏洩防止による不安緩和

パスワードロックでは、パスワードが流出したらファイルを守りきれないため、マイナンバーを保護するには大きな不安がありました。ファイルが事務所外に出ても保護・管理し続けることができるという点で「FinalCode」は必要不可欠なソリューションです。

小泉事務所

■社会保険労務士　小泉事務所

詳細はWebサイトをご参照ください。https://www.finalcode.com/jp/case/

アジェンダ

1 ファイルセキュリティの重要性

2 FinalCodeについてのご紹介

3 ご活用事例

4 まとめ

本セッションのまとめ

1．境界線がないゼロトラスト時代には、人やシステム・経由に
　　縛られずに行き来する、**ファイル自体を守るIRM**は一つの解。

2．デジタルアーツのFinalCodeで、**安価かつ堅牢な対策が可能。**

3．セキュリティ向上だけでなく、**業務効率化を実現した多数の
　　導入事例、お客様の声あり。**

無償試用版について

FINALCODE®

無償試用版を
ご提供しております。
ぜひお気軽に
お申し込みください。

詳細はお問い合わせください。

「FinalCode」で検索！

https://www.finalcode.com/jp/

動画・Facebookご活用ください！

YouTube

「5分で分かる製品紹介動画」や
「カンタン動画マニュアル」など
製品に関する動画を公開中！

https://www.youtube.com/c/DajJp

Facebook

デジタルアーツの情報や
セキュリティニュースなど
お役立ち情報を配信！

https://www.facebook.com/DigitalArts.Japan/

「デジタルアーツ」で検索！

最後までご覧いただき、ありがとうございました。

ご質問等がございましたら、お気軽にお問い合わせください。
製品ページ：https://www.finalcode.com/jp/
メール：sales-info@daj.co.jp
問い合わせフォーム：https://www.finalcode.com/jp/contact/

デジタルアーツ株式会社

〒100-0004東京都千代田区大手町1-5-1
大手町ファーストスクエアウエストタワー14F
Tel 03-5220-3090 Fax 03-5220-1130
sales-info@daj.co.jp　　www.daj.jp